

IGCP(地質科学国際研究計画)608

第2回国際研究集会「白亜紀のアジア-西太平洋地域の生態系システムと環境変動」

**The 2nd International Symposium of IGCP 608 “Cretaceous Ecosystems and Their Responses to Paleoenvironmental Changes in Asia and the Western Pacific”
(The 2nd IGCP608 Waseda 2014)**

シンポジウム「白亜紀の陸-海リンケージと生物相進化:アジア-西太平洋地域からの貢献」

2014年9月4日(木)~9月6日(土) 早稲田大学大隈講堂1F 小講堂

開会セッション 9月4日(木)

09:40 - 09:50 歓迎挨拶 井龍康文(日本地質学会会長)

09:50 - 10:20 IGCP608・シンポジウム概要紹介 安藤寿男 IGCP608リーダー(茨城大・理)

10:20 - 11:00 基調講演「北米太平洋岩域の白亜系の化石層序・古環境・テクトニクス:

環北太平洋地域の統合対比に向けて」 James Haggart (カナダ地質調査所)

セッション(口頭44件・ポスター37件)

9月4日(木)

11:25 - 12:45, 13:50 - 15:50

1) 海洋無酸素事変諸現象:アジア-西太平洋地域地層記録からの貢献 (9件)

16:10 - 17:10

2) 生物相進化:アジア-西太平洋地域の動物相・植物相 (微小動物相:3件)

9月5日(金)

09:10 - 11:50

3) 生物相進化:アジア-西太平洋地域の動物相・植物相 (微小植物相:7件)

13:00 - 14:00 ポスター・セッション I

① 陸-海リンケージ:対比・堆積・古環境 (17件)

② 生物相進化:アジア-西太平洋地域の動物相・植物相 (16件)

③ アジアの白亜系ジオパーク (4件)

14:00 - 15:00

4) アジアの白亜系ジオパーク (3件)

15:00 - 17:40

5) 陸-海リンケージ:対比・堆積・古環境 (7件)

9月6日(土)

09:10 - 10:10

6) 陸-海リンケージ:対比・堆積・古環境 (3件)

10:30 - 11:50

7) テクトニクスと古環境:アジア-西太平洋地域 (4件)

13:00 - 14:00 ポスター・セッション II (9月5日(金)ポスターセッション Iと同じ37件)

14:00 - 16:40

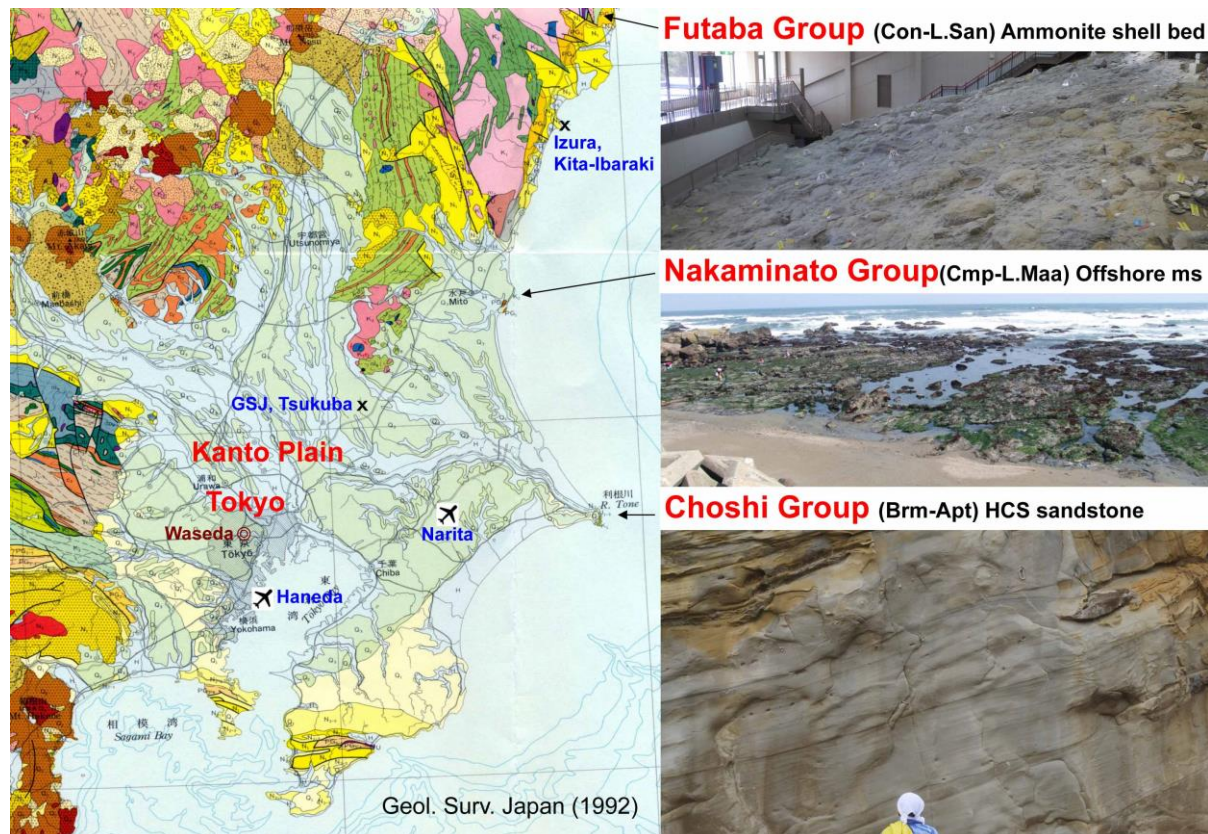
8) 生物相進化:アジア-西太平洋地域の動物相・植物相 (大型動物相:8件)



巡検「本州中部太平洋岸の白亜紀前弧堆積盆の珪質碎屑物サクセッションにおける堆積相と動植物化石相」 2014年9月7日(日)～9月10日(水) 4日間

- 1) 銚子層群(ストーム卓越型浅海成砂岩-泥岩相)(銚子ジオパーク)
- 2) 那珂湊層群(沖合成泥岩相-タービダイト砂岩・泥岩互層相)(茨城県北ジオパーク)
- 3) 双葉層群(河川-浅海成砂岩泥岩相 (いわき市石炭化石館, アンモナイトセンターほか))
- 4) 産業技術総合研究所 地質標本館(つくば市)
- 5) 茨城大学五浦美術研究所(六角堂)(北茨城市)(茨城県北ジオパーク)

案内者: 安藤寿男(茨城大)・平山廉(早大国際教養)・柏木健司(富山大)・利光誠一(産総研地質標本館)



開催母体: IGCP608 第2回国際シンポジウム実行委員会(委員長: 安藤寿男)

後援学会等: IGCP(地質科学国際研究計画)(UNESCO-IUGS)

日本地質学会, 日本古生物学会, 日本堆積学会, 地質調査所, 日本ジオパークネットワーク

早稲田大学教育学部および同地球科学専修, 早稲田大学国際教養学部, 茨城大学

ホームページ: <http://igcp608.sci.ibaraki.ac.jp/>

最終案内冊子(プログラム付): <http://igcp608.sci.ibaraki.ac.jp/index.php?id=5>

連絡先: igcp608.waseda@gmail.com

<参考>

IGCP(地質科学国際研究計画)とは?

IGCP(International Geoscience Programme)は、UNESCO(国際連合教育科学文化機関)の自然科学局環境部門の地球科学分野とIUGS(国際地質学連合: International Union of Geological Sciences)による国際協力研究事業で、1972年に開始以来約340件150カ国の数千人の研究者が活動し、2012年に40周年を迎えたプログラムです。2014年度は5つの大きなテーマのもと総計28件のプロジェクトが世界中で活動しています。

IGCP608「白亜紀のアジア-西太平洋地域の生態系システムと環境変動」について

IGCP608(略称:白亜紀アジア-西太平洋生態系)は、2013年3月IGCP本部より承認された、2013-2017年に活動する5年間の国際共同研究プロジェクト(リーダー:安藤寿男(茨城大・理))です。副リーダーとして、万 暁樵(中国地質科学大教授)、鄭 大教(韓国 江原国立大教授)、Sunil Bajpai(インド Birbal Sahni 古植物研究所 所長)を擁し、アジア11カ国および西欧9カ国のメンバーが参加する150人規模の国際研究プロジェクトです。

このプロジェクトは、南アジアを含む東アジアと西太平洋地域を対象として、白亜紀の古生態系の実態とそれらの古環境に対する応答を、地質科学の諸分野の多様な視点・手法から研究することを目的としています。主要な活動として、1年に1回各国を回って、国際シンポジウムと野外巡検を組み合わせた集会を行っています。第1回は2013年12月にインド・ラクナウで行われました。第2回の今回は、東京の早稲田大学大隈講堂で行うことになりました。第3回は中国瀋陽の瀋陽師範大学(2015年8月)、第4回はロシアのノボシビルスク、第5回は韓国ソウルで行われる予定です。

IGCP608「白亜紀アジア-西太平洋生態系」第2回国際研究集会について

2014年1月より開催案内を開始し、7月末に最終案内となるプログラムが確定しました。登録参加者をはじめ、関連学会等のメール・マガジンで案内しています。

口頭発表44件、ポスター37件で、現在までの登録者は約90名で外国人(12ヶ国41名)が半分弱となっております。以下の5つの口頭発表セッションと、3つのポスターセッションが行われます。

口頭セッション 1) 海洋無酸素事変(9件)、2) 生物相進化(植物相と動物相)(18件)、3) 陸-海のリンケージ:(10件)、4) 構造地質と古環境(4件)、5) 白亜紀のジオパーク(3件)

ポスターセッション(コアタイムは9月5日と6日の13:00~14:00) 1) 陸-海のリンケージ(17件)、2) 生物相進化(植物相と動物相)(16件)、3) 白亜紀のジオパーク(4件)

シンポジウム後の野外巡検では、東京周辺で白亜紀層がよく露出する、銚子層群、那珂湊層群、双葉層群を見学し、白亜紀の日本に存在していた前弧堆積盆の堆積物における多様な堆積相や豊富な動植物化石相を紹介し、現地討論します。また、銚子ジオパークや茨城県北ジオパークの主要ジオサイトや、いわき市石炭化石館、アンモナイトセンターなども見学し、白亜紀層が地質観光資源として利用されている様子も見学します。また、産業技術総合研究所地質標本館も見学し、日本の地質学的魅力や特徴、日本産の岩石・化石等の概要を紹介し、地質調査総合センターの活動も紹介します。巡検には45名ほどが登録しており半分は外国からの参加者です。